



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

週報



所沢西ロータリークラブ
(RI第 2570 地区第 3 グループ)

会長 室伏秀樹 ・ 副会長(会長エレクト)山田富男
幹事 栗原和明 ・ クラブ管理運営委員長 内田 学
例会場 所沢市星の宮1-3-5 〒359-1127 セレス所沢 TEL.04-2923-4122
事務局 所沢市けやき台2-7-6 〒359-1118 安田第三ビル206号 TEL.04-2926-1666
例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/> FAX2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp

近辺 RC の開催日一覧表 (メーカーにご利用ください)

| クラブ | 所沢中央 | 所 沢 | 新 所 沢 | 所 沢 東 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 例会日 | 月曜夜間 | 火 曜 日 | 火曜夜間 | 木 曜 日 |
| 例会場 | セレス所沢 | 野村證券 | セレス所沢 | セレス所沢 |

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1244 回例会 2012・2・14

| 卓 話 | 例会当番 | 記念祝福 |
|-------------------------------|-------|-------------|
| 2/14 「わがビジネス春秋とほどほど人生」 大森 清司様 | 内田 学 | 2 月ご夫人誕生 |
| 2/21 例会振替 2/19 IM | | 石井 芳子 松本 紀子 |
| 2/28 「複写はがきの効用」 | 内野 和美 | 内野 洋子 大館きよ子 |
| 庄司 ヲ子様 | | 高橋 松代 和記美奈子 |

| ■出席報告 | |
|-------|-------|
| 月 日 | 2/7 |
| 会員数 | 38 |
| 出席者 | 26 |
| 出席率 | 68.4% |
| 前回修正 | 92% |

会長の時間 室伏 秀樹

本日の卓話は平方会員による「水と原子力発電」です。よろしくお願いいたします。

4 日(土)に国立女性会館で開催され小暮委員長と出席した「第 2 回職業奉仕部門セミナー」の報告をします。尚、同日同場所で開催された財団セミナーには内田学さんが出席されましたので、後程お願いいたします。

「我等の生業」として 3 名から報告がありました。製造業としてのおダの脱下請けから、現在では NASA に納入するまでになった狭山中央 RC 大星電機・若松さん、アメージンググレイスという結婚式場を運営する本庄 RC 萩原さんは、お客様評価全国 4,000 店舗中第 1 位となった話。ピアー化〜という印刷屋を 25 歳主婦で立ち上げ、子育て時のご苦労から、現在ではイベントの企画からプロモーションを手掛ける熊谷南 RC 植竹さんと三者三様でとても勉強になりました。

また、二部として高校生社会体験活動報告が五校の先生と生徒代表からありました。

平成 18 年から始まり、中退防止・中退率 3.4% 以下 1,300 人未満を目標とし達成見込みとのことでした。第三グループは入間高校が豊岡高校と合併し廃校となり、実施されていません。

鈴木ガバナエレクトはサティエゴの研修が 1 月 20 日に終了し、インキングガバナと名称が変わりました。次年度 RI 会長の田中作治さんから新年度のテーマが「Peace Through Service」「奉仕を通じて平和を」とありました。

ロータリー財団のニューズレターが、私のメールにありました。

1 億 400 万ドルの目標に対して昨年末で 4600 万ドル(下期分含まず)、ということで協力要請です。昨年の実績は、一人当たりの一位は香港 The Peak RC \$4,685、日本は千里 RC \$3,054 でした。当クラブは本年一人 \$60 とポールハリスフェロー 2 名で全体で

\$ 4,280 でした。

がバナー補佐から東日本大震災で中止となっていた、オーストラリアからの GSE (研究グループ 交換 Group Study Exchange) が、4 月 5 日から 1 週間の計画で 5 名が見えるのと協力要請が来ています。どなたか協力してもらえないでしょうか？

IM の出席人数報告要請があります。当クラブでは IM 実行委員会により、書き損じはがき回収事業が報告されます。多数の参加をお願いいたします。

上野直前会長よりヘグペン数値が、7.8 から 2 月 1 日には 12.8 まで上がり、最下限の 13.68 までもう一息となった。到達次第例会に出席すると Fax. がありました。

本日の食品の話は「フリーズドライ」についてします。

あらかじめ加熱や味付けなどの処置をした、水分を含んだ食品や食品原料を、マイナス 30℃ 程度で急速に凍結し、さらに減圧して真空状態で水分を抜いて乾燥させたものです。

似た製法は古くからあり、有名なのはメキシコで発達した 1500 年前の古代マヤ文明のころから存在するチュニョというジャガイモの保存食です。高地での昼夜の寒暖差を利用し、凍結と自然解凍、足で踏み水分を抜く作業を繰り返し乾燥状態にします。日本では高野豆腐が有名です。

1950 年代に軍隊の携行食の軽量化を目的に本格的になりました。

当初は熱風乾燥や加熱濃縮が主流で風味や栄養素を非常に損ないました。

日本では、インスタみそ汁、鮭茶漬け、カップヌードルの具として発達してきました。

現在では宇宙食や非常食、医薬品の製造にも用いられています。

東日本大震災の津波により泥などの汚れた古文書を、真空凍結乾燥機で乾燥させ除去作業をしています。

余談ですが、フリーズドライではありませんが、インスタみそ汁の歴史は古く戦国時代にありました。

芋茎（ずいき）縄といい、武田信玄が八つ頭の茎と葉を味噌で煮しめ、必要な時に刻んで味噌汁にしたとあります。とてもうまいとは思えません。

幹事報告

栗原 和明

◆理事会報告

- * 第 3G I・M 2 月 19 日 (日) 東武狭山サロン PM1:30 点鐘 多数の御出席をお願い致します。
- * 観葉植物を 3 月中に市内老人福祉施設 12 ケ所に贈る予定
- * 市内 5 クラブ共同事業「第 10 回こどもとうきち将棋大会」について 2/26 (日) 午後 12:00～生涯学習センター (旧並木東小) 所沢西クラブが主管ですので皆様のご出席をお願い致します。
- * 書き損じ葉書の回収は、2 月末日頃始めて下さい。
- * GSE (研究グループ 交換) について会長より説明
- * 新年会会計報告承認

◆幹事報告

1. 第 3 グループ 第 7 回会長幹事会 3 月 7 日 (木) 午後 6:00～ マウントイン飯能
2. 平成 23 年度所沢市暴力団排除推進協議会臨時総会資料
3. 第 3 グループ IM 参加出席お願い・ローター手帳申込
4. 例会変更・・・新所沢 RC
5. 週報・・・飯能 RC、所沢 RC、新所沢 RC、吉安扶輪社

社会奉仕委員会

大館 良典

2 月 26 日 (日) 第 10 回こども「とうきち」将棋大会が開かれます。今回は当クラブが担当ですので、会員皆様の御協力をよろしくお願い致します。

お願い致しました結果、以下の会員の方々にお手伝い戴ける事になりました。大変有難うございました。

内田 学さん、太田 一夫さん、大館 信夫さん、大館 良典さん、荻野 賢司さん、栗原 和明さん、小暮 博文さん、豊田 吉三郎さん、原 正興さん、平方 真一さん、室伏 秀樹さん、本橋 正夫さん、吉田 栄治さん

第 3G IM 実行委員会報告 吉田 栄治

2 月 2 日に第三グループの IM の時に実施するプレゼンテーションの第 2 回目の実行委員会が狭山市の市民会館で開催されました。平方委員長と出席しましたので、ご報告します。

先に例会時に発表したものを持参しましたのでそ

れを発表して、ご検討していただきまして、了承されました。各クラブとも同じ様なものでした。当クラブの作品は、16分の物で、10分に短縮して完成する旨説明しました。IM当日は、大勢の会員に参加して頂き見てほしいです。以上報告です。

財団セミナー報告

内田 学

次年度の財団セミナーに出席し、資料の詳しい説明を受けました。

ニコニコボックス

高橋 和男

- 室伏 秀樹 平方先生よろしく申し上げます。原発事故の影響で、特に農産物、魚介類の対応で苦勞しています。
ご助言を！！
- 栗原 和明 平方講師、本日はよろしくお願い致します。
- 小暮 博文 本日、都合により欠席致します。職業奉仕委員会、第2回セミナーに出席しましたが、欠席しますので、室伏会長も参加していますので会長より、セミナー報告をお願いしております。よろしくお願い致します。尚、「我らの生業」の冊子が届いております。多くの会員の方に読んで貰えればと思います。
- 内田 学 先週の例会には、両親がお邪魔しました。2月3日に神明社に皆様の福を呼び込む豆まきをしました。平方先生、本日はよろしくお願い致します。
- 荻野 賢司 前回欠席しました。
- 山崎 武邦 前回欠席。
- 荻野 安次 本日早退。
- 高橋 和男 欠席が続きまして。又本日早退します。



卓話 「水と原子力発電」

所沢西 RC 会員 平方 真一様



1. 福島原発事故拡大の理由

日本には54基の原発がありますが、その原子炉の構造は、皆様、報道等で、よくご存じだと思います。压力容器の中に、燃料棒（約4M）の集合体を入れて、その回りに水を注入、循環する事により、蒸気を発生させて、タービンを回して電力を作ります。今回の福島の事故は、津波により、全所停電を起した事によるものだと言われています。従ってこれは天災だと報道されました。想定外とも言われました。果たしてそうだったのでしょうか。では、なぜ停電になったのでしょうか。原因は1つです。停電時には、非常用発電設備があり、普通、受電出来ないとすぐに発電機が回ります。今回はこれが活用しませんでした。なぜならこの非常用発電機が地下1階の一番奥に設置されていたからです。津波が最初に襲ったのは、この場所でした。普通、非常用発電機は地上もしくは、高い場所（屋上）に設置するのが常識です。海のそばにある施設ならなおさらです。第二のメルトダウンの原因は、東電の決断の甘さが命取りとなりました。福島原発の所長が、海水の注入を提訴したにも関わらず、東電本社の対応が遅れ、《海水を注入すると二度と使えない》決断したのが、事故の翌朝になり、大きな損傷となりました。今回の事故は、天災半分、人災半分と言えるでしょう。

2. レベル7とは

「国際原子力時評尺度」で最大最悪のレベル7になりました。このレベル7は、1986年に起きたチェルノブイリの事故レベルと同等です。しかし国は今回の福島原発から出た放射能は、チェルノブイリの10分の1と発表していますが、発電所の規模から考えますと、チェルノブイリ4号炉が出力100万kw、福

島第一は、1~4号機の合計は300万kwです。信用して良いのでしょうか

3. 放射能の単位とエネルギー

今、放射能の単位として使われているキュリーやベクレルは、彼らがウラン鉱石からウラニウムやポロニウムを発見した功績により、放射能の単位として使われています。報道では、シーベルト、ベクレルが主に使われています。シーベルトは、生体への影響を表す量、ベクレルは、水や食べ物に含まれる放射能物質の量の事です。

4. 東京電力が責任を取らない理由

1961年に「原子力損害賠償法」が制定され、10年毎に見直されています。最近の2009年の改定では賠償措置額は1200億円でそれ以上は国で払う事となっています。同時に条文の中に「電力の安定供給に支障が生じた場合は国が保証を肩代わりできる」と言う事になっています。従って、昨年の計画停電のように、安定供給出来ないパフォーマンスを行えば、国に保証を転嫁できるしくみです。

5. 原子力発電の実態と未来は？

1つの原子力発電所が生み出す使用済み燃料は、1年間で30トンです。現在、六ヶ所村にある貯蔵量は3000トになりました。第二次世界大戦の敗戦国である日本は、一切の原子力研究を禁じられました。その為、フランス、イギリス、アメリカ等の戦勝国から、技術を導入したのですが、原発後進国である日本は、自分達の技術で原発を立ち上げようとしたが、全て失敗しています。まず、東海再処理工場で、使用済み燃料のガラス固定化がだめで、工場は閉鎖中です。次に考えたのは、高速増殖炉やプルサーマル計画です。御承知のように、高速増殖炉もんじゅは、1994年に稼働して翌年にナトリウムの噴出火災を起こして、14年半の停止。2010年から動かして1年間で936回の警報が鳴り、32か所の不具合が見つっています。おまけに使用済み燃料（プルトリウム）を45トン長崎の原発4000発分をため込んでいます。すでに1兆円の予算を使い、1kwの発電もできず、何もしなくても1日5500万円の維持費をかけています。もっとひどいのは、プルサーマル計画です。原子力国際条約で、プルトリウムは一定の量しか、貯蔵してはいけない事になります。技術の無い日本はどうしたか？普通の原子力

発電所で使われている原子炉で、プルトリウムを燃やすプルサーマル計画ができました。今回の福島第一原発の3号機がそうです。これは非常に危険でした。例を上げれば、普通の石油ストーブで、灯油の代わりにガソリンを使うようなものです。この失敗で懲りない人々は、六ヶ所村の再生処理工場が、出来ないまま、今度は大間にMOX原発の建設が進められています。プルトリウムはウランの数10万倍の毒性を持っています。もしここで事故が起きたら、日本はおろか世界中が破滅の道をたどります。

6. 今後のエネルギーは？

それでは、今後のエネルギーは、化石燃料でいいのかと言うと、そうでもなく、石油が枯渇する年数は今後50年と言われています。それに備えて、今から太陽光、地熱、風力等の自然エネルギーの開発に努めるべきでしょう。日本は、少し前まで、太陽光発電の分野では、世界のトップでしたが、いまや中国やドイツに追い抜かれてしまいました。

*R水素とは

再生可能エネルギーの事でリニューアブル水素と言います。R水素とは水で作るエネルギーの事です。水1リットル中には、3.3kwの静止エネルギーがあります。これを再生するわけですが、皆さんは水の電気分解を御存じでしょう。水を電気分解すると、水素(H)と酸素(O)に分離します。分離した水素をいつでも使用できるように、加圧タンクに貯蔵し、その水素を燃料電池に送り、酸素と再結合させると、電力や動力になります。又、この水素だけを取り出して、ガソリンに代わる燃料としても利用できます。このR水素の長所は、余剰電力を蓄積できて、自然破壊の原因となりません。現在、このR水素は、実験から実用化されています。オーストラリアのブリスベンにあるグリフィス大学の電気設備、デンマークのロラン島やハワイ、アイスランドではすでに使われています。日本でも屋久島や隠岐島の海士町では、人口2200人の電力をカバーしています。さて、水は将来のエネルギーになり得るでしょうか。1874年、今から125年前にフランスの小説家ジュール・ヴェルヌは言いました。「水は未来の石炭になり得るでしょう」